

世界の現場に医療を届ける仕組みをつくる

ー スイス・ジュネーブでの業務を終えて ー

私は2023年11月から2年間、IFRC（国際赤十字・赤新月社連盟）ジュネーブ事務所において、Medical Procurement（医療物資調達）の分権化（Decentralization）を背景とした制度構築および運用支援に従事しました。IFRCでは2024年4月より、それまでジュネーブ事務所で一元的に実施していたMedical Procurementを地域事務所（5地域：ハンガリー、レバノン、ケニア、パナマ、クアラルンプール）へ移管し、より迅速かつ現地に即した調達体制への転換を進めています。本活動では、この移行を円滑に進めるとともに、分権化された体制下でも品質保証とガバナンスを維持するための仕組みづくりに取り組みました。

まず、分権化移行期においては、地域事務所から寄せられる医薬品仕様、サプライヤー情報、各国規制に関する問い合わせに継続的に対応し、調達案件の停滞を回避しました。これにより、移行初期におけるMedical Procurement業務の継続性を確保するとともに、地域事務所が新たな役割を担うための実務的基盤の安定化に寄与しました。また、医療物資調達に必要なサプライヤー情報の整理・蓄積に関与し、地域事務所がリスクベースで調達判断を行うための基礎データ基盤の整備を支援しました。

さらに、分権化後のMedical Procurement体制に内在するリスクを整理し、リードタイム、品質保証、輸入規制などの観点から複数地域に共通する主要リスク領域を特定しました。その上で、IFRCジュネーブ事務所の薬剤師と連携し、各リスクに対する具体的な緩和策を提示しました。これらの分析および提案は、IFRC全体で進められているMedical Logistics機能の再設計や調達ガイドラインの改善に活用され、分権化体制の下でも品質と効率を両立するための制度基盤の強化に貢献しました。

緊急時対応に不可欠な医療キット調達に関しては、IFRC Healthチームと連携し、リードタイム、品質保証、事前配置の課題を整理しました。その成果として、複数の医療品および緊急キットに関する包括契約（Global Framework Agreement）の設計および入札準備に関与しました。特に外傷・緊急手術キット（TESK）については、各国赤十字社との協力のもとニーズ分析、ボトルネック分析、サプライヤー調整を通じて最終的な契約締結に貢献し、緊急時における調達手続の標準化およびリードタイム短縮を可能とする基盤構築に寄与しました。

また、職員の安全確保に直結する取り組みとして、PEP（曝露後予防）キットの全IFRC事務所配備に向けた初の包括的な実現可能性調査を主導しました。本調査では、5地域を対象に輸送・通関、各国規制、品質保証、サプライヤー能力といった多角的な要素を分析し、地域ごとの実行可能性およびリスク緩和策を提示しました。これにより、IFRCにおけるPEPキット配備計画の基礎資料を確立し、職員の安全対策強化に向けた具体的な一歩を示しました。

さらに、赤十字・赤新月ムーブメント内外との連携強化にも取り組みました。IFRC Pharma Task Teamの再稼働を主導し、各国赤十字社における医療キット調達状況やGFAの活用状況を可視化することで、知見共有と協力体制の強化を図りました。また、WFP

Logistics Cluster の Medical Logistics Working Group に IFRC 代表として参加し、Medical Procurement に関する課題や改善策を国際的な枠組みの中で共有するとともに、IFRC の調達方針や取組の発信を行いました。これらの活動により、IFRC の Medical Procurement が国際的な議論と整合し、より実践的な体制へと発展することに貢献しました。

本活動を通じて特に重要であったのは、Medical Procurement が単なる調達業務ではなく、医療の質と安全を担保する一連のプロセスの一部であるという点です。分権化により調達機能が地域に移行する一方で、品質保証やリスク管理の重要性はむしろ高まります。こうした中で、各地域の自立性を尊重しながらも、IFRC 全体として一貫した品質基準とガバナンスを維持する仕組みを構築していくことが求められました。

今回の業務を通じて、国際機関における制度設計や組織間調整の重要性、そしてグローバルとローカルのバランスを取りながら仕組みを構築する難しさと意義を実感しました。

今後は、本業務で得た知見や経験を活かし、国内外における調達体制の強化や国際協力の推進に貢献していきたいと考えています。



IFRC ジュネーブ事務所
最上階からはモンブランが望める



所属のチームメンバーと
全員集まるのは稀



ロジスティクス ERU 研修にて
各国からの参加者たちと作戦会議